

## 幼稚園部会 幼稚園部会に加盟する園の新制度への移行状況

平成27年度に子ども子育て支援新制度が開始され、令和3年度で7年目となりました。

新制度開始時の平成27年度では従来型の私学助成の幼稚園が半分以上ありましたが、徐々に新制度に移行が進み、令和3年度では私学助成園は全体の約2割にまで減少しています。

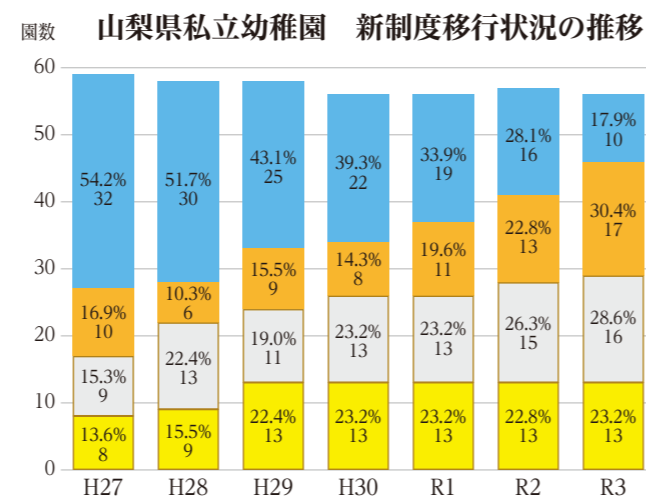
また、幼稚園から認定こども園への移行も進んでおり、令和3年度では、加盟園のほぼ半分が認定こども園に移行しています。

男女共同参画社会の名の下、両親とも共働きの世帯が増加し、いわゆる「保育ニーズ」が高まっています。また急速に進む少子高齢化も相まって、「幼稚園」のニーズは残念ながら減少傾向となっています。



■ 私学助成幼稚園  
■ 施設型給付幼稚園  
■ 幼稚園型認定こども園  
■ 幼保連携型認定こども園

このような状況の中で、園児数の減少に際して、ある程度柔軟に対応出来る「施設型給付の幼稚園」や幼稚園機能と保育所機能を合わせ持つ「認定こども園」への移行が進んでいます。



## 小中高部会 授業料・学用品・入学準備に対する支援について

### 私立高校生に対する支援

#### 1 授業料等に対する支援

令和2年4月から、**私立高等学校授業料の実質無償化**がスタート!

年収590万円未満の世帯の生徒を対象に、

**授業料を最大396,000円まで支援!!**

世帯年収額の目安	支給額(年額最大)	
590万円未満	全日制	396,000円
	通信制	297,000円
590万円～910万円未満	通信制(単位制)	1単位12,030円
	全日制	118,800円
	通信制	118,800円
	通信制(単位制)	1単位4,812円

#### 2 学用品等に対する支援

生徒の保護者等の県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税の世帯等には、学用品等購入費として給付金が支給されます。

区分		給付金額(年額)	
生活保護受給世帯	全日制	52,600円	
	通信制	52,600円	
県民税所得割及び市町村民税所得割非課税世帯(270万円未満)	第1子の高校生等がいる世帯	全日制	129,600円
		通信制	50,100円
23歳未満の扶養されている兄・姉がいる世帯で第2子以降の高校生等がいる世帯	全日制	150,000円	
	通信制	50,100円	

#### 3 入学準備に対する支援

新入生の保護者等の県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税世帯等(生活保護世帯を除く)には、入学用品等の購入費として給付金が支給されます。

### 私立小学生・中学生に対する支援

#### 1 授業料等に対する支援

年収400万円程度未満で、保護者等全員の保有資産額の合計が600万円以下の世帯に支給されます。

世帯年収額の目安	支給額(一律)
県民税所得割及び市町村民税所得割非課税世帯(270万円未満)	50,000円

世帯年収額の目安	支給額(年額最大)
400万円未満	100,000円



# 私学 やまなし

第8号  
令和3年10月

## 挨拶



山梨県教育委員会  
教育長 三井孝夫

山梨県私学教育振興会の会員の皆様には、日頃より各学校における建学の精神に基づいた特色ある教育を推進され、本県の学校教育の振興に御尽力をいただいておりますことに、感謝申し上げます。

さて、令和元年12月に新型コロナウイルス感染症が中国で確認されて以降、瞬く間に世界へ流行が広がり、私たちの生活や学校運営に大きな影響を及ぼしています。

また、本年4月に公表された全国規模の実態調査では、家族の世話のため、勉強の時間や友達と遊ぶ時間がとれないといったヤングケアラーが一定数いることが明らかになっています。県では本年9月に山梨県教育振興基本計画の改訂を行ったところであり、こうした新たな課題にも対応していくこととしております。

私立学校においては、これまでも幼稚園から高等学校まで、多くの子どもたちの教育を担う大切な役割を果たしていただいているところですが、本県で育つ子どもたち誰もが、その子の個性を生かして社会で活躍できるよう、今後とも教育環境のより一層の充実に向け、御理解と御協力をいただけますようお願い申し上げます。

## 保護者の声



山梨県私立幼稚園 PTA 連合会  
会長 水谷 みや美  
(認定こども園 甲府大里幼稚園 PTA 前副会長)

皆様こんにちは、山梨県私立幼稚園PTA連合会の活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。皆様と共に今年度も私学教育の振興・子ども達の健全育成の為に精進させていただきます。

私には二人の子どもがおります。仕事と家事をし、あっという間に一日が終わってしまう中、子どもと向き合い成長を見逃さないように幼稚園を選びました。園では親子活動が季節ごとにあり、先生と園児の様子がよく分かります。子どもが初めてを経験する中で、先生は子どもが不安な時はそっと寄り添い、自信がなさそうな時は背中を押してくれ、できた時は大いに褒めてくださいます。活動の中で子どもの成長を実感し、同じ思い出を記憶に残す事ができました。コロナの影響で限られた園生活が続きますが、心が満たされる時間を過ごさせていただき感謝しております。これからも園と保護者が協力し、園児の健やかな成長と笑顔が増える事を願っております。



山梨県私立中学高等学校 PTA 連合会  
会長 八巻 力也  
(駿台甲府中学高等学校 PTA 会長)

今年度、山梨県私立中学高等学校PTA連合会の会長を務めさせていただいております八巻力也と申します。一年間よろしくお願いいたします。

私学におきましては、建学の精神に基づき、それぞれ特色のある独自の教育を展開し、より良い教育環境の整備と充実が図られており、昨年からの前例のない感染症の蔓延の中におきましても、各学校の先生方の創意工夫により、子どもたちが安心して学校生活を送ることができております。

今年度も、コロナ禍での制約された中での活動となりますが、私たち保護者も学校の先生方と協力をして、子どもたちがより充実した学校生活を送ることができるよう活動をしていきたいと思っております。

## 私学ならではのコロナ禍における充実した学び



いづみ幼稚園・みたま幼稚園  
園長 岩田 乃江留

成長の基礎を育むスキンシップと感染予防の両立に戸惑う日々が続いていますが、「ないものより、あるもの。できないことより、できること。」に視点を変化させ、全教員が一丸となって創意工夫しながら、園児たちと共に関わりのない時間を過ごしています。

予測不能な時代の真っ只中にいるからこそ、生きていくのに本当に必要なことは何かがあぶり出されてきました。幼稚園が園児の安全基地であること、園児が心身を動かしてワクワクして遊ぶこと。その中で、人とつながる喜びをたくさん感じてほしいと願っています。固定概念を外すことによって遊びが豊かになることが多くあります。保育参観や子育て講座をオンラインで開催したり、園生活の写真や動画を公開したり

して、保護者とのコミュニケーションのしかたも柔軟になりました。

コロナ禍において「ウェルビーイング」を実現するための取り組みが重要な意味を持っています。教員は教育を通して未来を創る仕事をしているのだということにも改めて気づきました。困難を乗り越え、園児のみならず教職員や保護者の幸福（ウェルビーイング）が実現されることを期待しています。



山梨学院中学校・高等学校  
校長 吉田 正

現在の新型コロナウイルス変異株のニュースを見ると、昨年の3月から5月までの3カ月、県の一斉休校措置によって生徒の登校が制限されたことを想起させられます。この時は私立学校と公立学校の対応の大きな違いが浮き彫りになりました。

公立校が生徒や家庭への対応に躊躇している間、本校ではオンラインで生徒との連絡を密に取り合うほか、IB コースは3月から Zoom 授業を展開しました。高校の他の系列も数回にわたる紙媒体の課題送付の他、オンラインの授業コンテンツを配信し、現在でも続けています。中学校では 300 本に及ぶオリジナル授業動画や生徒激励の動画を作成し、他のオンライン授業コンテンツと併用して授業進捗を確保し、生徒を励まし続けました。

学校は、学習の機会を保障し、思春期から青年期の子供たちの心を支え、子供たちの学びへのモチベーションを高めることに力を注ぐべきです。

私立学校は、独立しているが故、独自の機動力が発揮できるのです。本校は進学校として十分な授業時間を確保し、進学を保障することで生徒の夢の実現を支援し続けます。

